



藤井 精七 議員

財政再建を優先すべきでは

矢中建設と両立したい

財政再建を基本に学校建設延期の決意表明を

藤井 町の将来、日本の将来を担っていく子供達の安全、安心、そのような環境の中での生活、非常に大切です。それと同様、1万8000有余人の安全、安心、町政の信頼を失ってはならないと思います。財政再建を優先し、中学校建設を延期してはどうか。

町長 矢吹中学校建設に關しては、耐震診断の結果、危険な校舎であるとの指摘があり、改築の方針のもと事業を推進してきた。



矢吹中学校

安全、安心な教育環境の実現のため、財政再建を着実に進めながら、できるだけ早い時期に着工してまいります。

再質問 風を読む。空気を読む。機を読む。政治家が大きな判断、重要な判断をするとき使う言葉である。町長も風を読み、空気を讀み、機を讀んで仕事にかからなければならぬと思います。中学校建設特別委員会が出した提案が私は読み違えない結果ではないか。

町長 財政再建と矢中建設という本当に難しい2つ

の重要な事業を行うわけであるから、ご提案のように、風、空気、機を読みながら判断していかねばならない。そして、何よりも子供の安心、安全、身体と生命を守るために、住民の方に十分に説明を尽くしたい。

医療費無料年齢引き上げを

藤井 大玉村は本年度10月1日から中学校3年生まで無料化になります。これはどれだけ子育て支援の大きな力になるか、はかりしれないものがあります。

矢吹町は常に福祉の町、福島県でも先端をいく町という評判がありました。が、力強い施策が求められています。町長の考えはどうか。

町長 県内の市町村の大半では、6才までが無料化されているが、当町では平成15年10月より7才まで無料化している。

町の財政状況を考え、当面は現状のまま運営していく。

尚、安心して子供を生み育てることが出来る環境づくりについては、第5次まちづくり総合計画に基づき、より一層の推進を図る。

農地、水、環境保全事業の対応は

藤井 昨年6月議会での町長の考えは、農村集落の大きな転換点になることも考えられる。動向を見守りながら慎重を期する。それが本年度の事業に取り組みということ、180度の転換です。どのような経過で取り上げるようになったのか。

町長 県内市町村の取り組みを調査し、本制度に乗った施策の展開を図るよう調整し6月11日に農事組合長及び行政区長の皆さんに対し、説明会を開催した。

やはり、集落営農の取り組みを急がなければならぬと考え、本対策とは別に所要額を計上し、でき得る限り本対策との整合性を図るよう担当課へ指示した。



吉田 伸 議員

企業は人なり 町政は人づくり、行政運営も人づくり

職員の意識向上に努力する

財政再建3カ年計画について

吉田 平成19年の各課の運営方針と目標が提示され、矢吹町政の今後の方向が町当局より議会と町民に示された。よりよい町づくりをするため、野崎町長の決意と町政の方針を伺う。さらに関連して諸問題について問う。

公共料金の値上げについて伺う

吉田 昨年より各種公共料金の値上げが答申されている。

財政問題が大きな課題となっている中においても、町当局の内部努力により町民の負担をなるべく少なくするという町長の方針はどのように町民に提示するのか伺う。

町長 国保税の値上げ、住民税の税制改正、ガソリン等の価格不安定の中の諸物価の値上げ等、町民の負担は大変なものである。合わせて今後の方針を伺う。

んな角度を持って見直しを考えていきます。

**町政は人づくり
行政運営も人づくり**

吉田 越後長岡藩振興の米百俵のたとえ話もあるとおあり、いかなる町政運営においても将来の町政に荷う若い職員の行政研修は大切な課題であると私は考える。

職員人材育成のために、県並びに民間企業に派遣してでも研修していただく事が大切と思うが町長の方針を伺う。

町長 私は「みんなで作る創造する私のふる里さわやかな田園のまち、やぶき」の実現を図るためには、職員一人一人が町の目標を十二分に理解し、自ら進んで考え行動する姿勢を持つことが、今まで以上に求められます。企業は人なりと言われますが行政もまさしく人なりと思います。

未来ある矢吹町をつくっていくためには、能力、資質、行動力の備わった若い職員を育てていく事が私に課せられた責務の一つと考えております。

町長 各課の運営方針と目標については本町の振興計画である第5次まちづくり総合計画を確実に実現するために、成果重視の目標管理型として各課の使命や目標、具体的な運営方針、職員構成や予算を示しながら、主要事業、行革実施項目等年間スケジュールとして計画的に推進していきます。平成19年度は、財政再建3カ年計画の初年度として具体的な改善方法や数値目標を示し、各実施項目の達成度を検証して、効果目標2億円の達成を図り、組織目標と合わせて個人目標を人事考課の成果効果として設定し検証し、成果を上げていきます。

町長 本町の財政状況は実質公債費比率が県内ワースト3位という状況から脱却して、健全な財政状況にするため、財政再建3カ年計画を策定して、町民説明会を開催し説明してまいりました。

内部経費については地方交付税が削減され、財政状況が厳しくなってきた時よりさまざまな見直しを行ってまいりました。今後も町民の生活の向上のためにもいろ



町づくりは人づくりから（三神幼稚園 七夕まつり）